

あなたの心にジャストミート6月11日メッセージ
最も重要な前提(マルコ 8:14-21)

神様が人類に向かって一番に知らせたいことは、「イエスはキリスト！」という喜びの知らせです。

人間には、自分で解決不可能な霊的問題があります。それが表に現れて、精神、肉体、人間関係、生活の崩壊、家庭や社会の墮落、戦争などの問題に現れるのです。霊的問題は、目に見えず、世の中では分からないので、人々は格闘してもがき、宗教やヒューマニズムに陥ります。しかし、人間の方法では、絶対に解決できません。それゆえ、神様は最初から、キリストを約束してくださいました。悪魔のわざを打ち破る、蛇の頭を打つ女の子孫、キリストを約束してくださったのです。そのキリストは、罪を贖うために十字架で血を流してくださり、インマヌエル＝神様がともにおられるようになる道、いのち、真理です。キリスト以外は、希望がありません。そして、十字架で死なれ、三日目に復活されたイエス様が、そのキリストです。それゆえ、神様は、イエスがキリストだということを人類に知らせることを願っておられるのです。ですから、いつでも、どんなときも、まず先に持つべき大前提が「イエスがキリストならば」です。イエスがキリストならばを前提にすると、いままで当たり前だったことが変わります。

1. イエス様がキリストなら、自分の水準と限界に縛られない。

イエスがキリストで、すべて完了されたなら、

自分の意見や限界に閉じ込められる必要はありません。

1) ヨセフは奴隷でありながら幸運な人となりました。

2) ダビデは羊飼いの少年でしたが、ゴリヤテを倒しました。主の御名によって立ち向かうということが、イエスがキリストということで、それによって、すべてひっくり返したのです。

3) エゼキエルは干からびていた骨に“主がご存じです”と言いました。イエスがキリストなら、生かされるということです。イエスがキリストなら、話は違いませんというのが信仰です。

4) 知らない、同じ質問の繰り返しに(荒野)イエスがキリストという信仰告白によって暗やみが砕かれて、悪霊が出ていきます。サタンのやぐらが崩れるのです。

イエスがキリストということの大前提にしていないと、今日の聖書箇所のように同じ質問を繰り返します。当たり前前に支配されず、イエスがキリストという契約の上に立ちましょう。

2. イエス様がキリストなら、無条件に信仰に飛び込む。

そして、イエスがキリストなら、理由を言いません。その証拠が旧約、新約にあります。

1) 旧約-キリストの契約なら無条件
創世記 22:3、1列王記 19:21、ダニエル 3:17-18、エステル 4:16

2) 新約-イエスがキリストなら無条件-マタイ 11:12、マルコ 10:48、ルカ 14:26、ローマ 1:17、ヘブル 12:2

3) 知らない、条件付きで信仰を妨げられる。

イエスがキリストなら、条件はすべて崩れます。

3. イエス様がキリストなら、御言葉が生きても働く。

みことばの内容が、

1) 聖餐の告白

2) 信仰宣言

3) 3、9、3の祈り

です。イエスがキリストなら、このみことばが自分のものとなり、生きて働くことを体験できます。

4) 知らない、御言葉が空回りする

イエスがキリストという大前提がいまいなら、みことばが空回りして、サタンに邪

魔されます。肉的に聞くようになり、福音が文字や律法になり、勘違いして誤解します。イエス様が言われた、神の国とその義を求めるのではなく、どうすれば何を食べるか飲むかということで、みことばが空回りするので、イエスがキリストだというめがねをかけて見ないと、自分の考えで人を見てしまいます。どんなに事実でも霊的なことではありません。

ですから、ひとりで静かな時間を持ち、イエス様をキリストと告白しましょう！そして、イエス様がキリストなら、私に「縛られているところはないのか？信仰を妨げる条件付きはないのか？御言葉より自分の考えが先走ってないのか？」を吟味しましょう。そして、イエス様が知らなくても良いと言われた使徒 1:7-8 に立ちましょう！そのあとの14節にあるように、祈りに専念する信徒になりましょう。

1部-マルコ 8:14-21 最も重要な前提

なるほど/「イエス様がキリストなら」を大前提にすると、自分の限界や条件付きの信仰から自由になり、御言葉の力を体験出来る。

ならば/イエスはキリストと告白し、「イエス様がキリストなら」を前提に、縛られている限界や条件付きの信仰、御言葉より先走る考えなどないか吟味し、使徒 1:7-8 に立とう。

2部-使徒 27:20 神の答えの回復

なるほど/信者は、完成された契約とそれを味わうこと、そしてそこからの力を持って業に集中すると、神様の答えに預かるようになる。

ならば/3、9、3の祈りを通して、受け入れる祈り、味わう祈り、分け与える祈りに集中して、体験しよう。そして、それが講壇と繋がり、本部のメッセージとつながることを体験しよう。